



# 万燈通信

平成30年7月5日発行

## 太田市中体連総合体育大会・吹奏楽コンクール等がいよいよスタート！

7月7日（土）より、順次、各部活動で市総合体育大会、吹奏楽コンクール等が実施されます。3年生は、これまでの練習の成果を発揮し、全力を出し切ったと思えるような試合や発表を期待したいと思います。また、1、2年生で出場する人もベストを尽くし、次の新人大会につながるよう頑張ってもらいと思います。なお、たいへん暑い中での大会になることが予想されます。体調管理に気をつけ、無理をし過ぎないようにお願いします。保護者の皆様には可能な範囲で、応援よろしくをお願いします。

### 大会日程・会場等

競技名	7月								競技会場	休泊中初戦の予定	
	7	8	14	15	16	21	22	23			24
	土	日	土	日	月	土	日	月	火		
1 軟式野球	○	予	○	○	予	○	○			運動公園野球場 サブグラウンド 新田野球場	7/14(土)10:30 対宝東中 於:運動公園野球場
	○	予	○	○	予	○	○				
									予		
2 バスケットボール			○							市民体育館 西中体育館 新田総合体育館(エアリス)	男子7/8(日)11:40 対練打中 於:西中体育館 女子7/14(土)13:00 対城東・飯塚・北・旭の勝者 於:新田エアリス
			○								
				○	○						
3 バレーボール						○	○			飯塚社会体育館	7/21(土)第2試合対東中
4 ソフトテニス	○	○	○	○	予	予		予		サンスポーツランド	男子団体戦7/7(土)9:00 対木崎中、城西中、GKA 女子団体戦7/8(日)9:00 対飯塚本町中、北中、東中 男子個人戦7/14(土)9:00 女子個人戦7/15(日)9:00
5 サッカー	○	○		○	○	○	予			市運動公園サッカー場	7/7(土)11:30 対練打中
6 陸上				○	予					市運動公園陸上競技場	7/14(土) 8:00 各種目
7 水泳			○							館林市城沼市民プール	7/14(土) 9:00 各種目
8 柔道								○		市武道館2階道場	7/22(日)9:00 男子団体 対宝東中、東中、城西中 女子団体 対尾島中、東中、飯塚本町中 終了後男女個人戦
9 剣道								○		市武道館1階道場	男女団体戦7/22(日)9:00 男子:対城西中 女子:対尾島中、木崎中 終了後男女個人戦

### 吹奏楽フェスティバル・吹奏楽コンクール

太田市吹奏楽フェスティバル 7月16日(土)

場所:太田市民会館

出演:7番(13:05予定)

福島弘和 作曲「いつも風 流り会う空」

東部地区吹奏楽コンクール 7月28日(土) 第60回群馬県吹奏楽コンクール中学校部門Bの部予選

場所:伊勢崎市民文化会館

出演:午前の部 20番(13:35予定)

福島弘和 作曲「いつも風 流り会う空」

## 第40回 少年の主張太田市大会

—若人の声、みんなの心に届け！—

6月30日（土）尾島行政センターで、第40回少年の主張太田市大会が開催されました。多目的ホールがほぼ満員となる盛況ぶりで、各校の代表者18名が立派な主張をしました。

本校からは、3年の深澤菜々さんが学校代表として参加し、堂々とした素晴らしい発表を行い、優良賞をいただきました。以下、深澤さんの主張を掲載しますので、ご覧ください。



リハーサルの時の様子

「偏見をなくすためには」

休泊中学校 三年 深澤 菜々

皆さんは「LGBT」について何か知っている事はありますか。言葉は知っていても意味などをよく知らない人も多いと思います。

LGBTとは、女性同性愛者（レズビアン）、男性同性愛者（ゲイ）、両性愛者（バイセクシャル）、体の性と心の性が一致しない人（トランスジェンダー）の頭文字をとった総称で、性的少数者を限定的に指す言葉です。約13人に1人の割合でいることがわかっています。それは、40人のクラスに3人いるとも考える事ができ、私たち中学生にとっても身近な存在であることがわかります。

私は、数年前にテレビでこのLGBTについての特集を観ました。そこでは「偏見の目が怖くて自信をもてない」「カミングアウトしたいが、今までの関係が崩れてしまいそうでできない」というような当事者達の悩みが打ち明けられていました。その中には、勇気を出してカミングアウトしたが、それが原因でいじめを受けた人や、自殺を考えるほど悩んだ人も少なくありませんでした。私はそれを観て、「どうして理解のある人は少ないのだろう」という疑問を抱きました。

この疑問の答えが見つかったのは、私が中学2年生の時の道徳の授業で、LGBTについて考えるという内容でした。その授業では、最初に授業のテーマに対する自分の意見を考え、発表しました。肯定的で理解のある意見もありましたが、クラスの大半は否定的な意見をもっていました。授業中には周囲に聞こえるような声で「気持ち悪い」と言う人もいました。しかし、授業が終わる頃には否定的な意見を言う人はほとんどいなくなり、理解を示すようになりました。それは、LGBTについて知ることができたからです。

このように、偏見の目で見られている物事についてより深く知ることで、それに対する考え方や感じ方を変えることができます。逆に、これはどんな事にもいえることですが、少しの知識だけではどうしても、物事を偏った見方でしか見ることができなくなってしまいます。そこで偏見が生まれてしまいます。

それをなくすためにも、LGBTについて学校の授業で取り入れるなどして、より多くの人に知ってもらいたいと思います。

さらに、日本は欧米の国に比べて、偏見癖があると言われることがあります。それなので、外国の人の考え方に触れてみるのもよいと思います。

2017年に、日本ではいじめ防止基本法針の中に、LGBT生徒の保護の項目が初めて盛り込まれました。また、2013年には約20ヶ国で同性結婚が認められたり、インドでは第三の性（トランスジェンダー）が法的に認められたりするなど、世界中でLGBTへの対応が進んでいます。そのため、私たちもそれに合わせて考え方や接し方などを変えていく必要があると思います。

「男らしい」「女らしい」という言葉は、差別的な言葉だということを皆さんは意識していますか。「まだ結婚しないの」という質問は差別的な質問だと認識していますか。LGBTについて、もっと勉強して理解を深めましょう。そして、見えていないだけで必ず周りにはいる当事者達が、少しでもカミングアウトしやすい環境を作り、見える存在になったらいいなと思います。